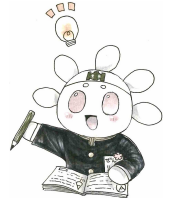


夢たまご通信

令和7年度
生徒会スローガン
輝け！
～善力 前力 全力～



ぜんりよくん

上宇部中学校だより No.6 令和7年10月21日発行

《貴重な体験授業》

①高専による出前授業（理科）

9月30日に宇部工業高等専門学校（高専）の先生と学生さんが本校にお越しになり、3年生の各クラスに理科の臨時授業をしてくださいました。「状態変化」をテーマに、液体窒素を持ち込んだ実験を実施していただき、各クラスとも日頃の授業ではなかなか見ることのできない科学現象について体験しながら学習することができました。今後も機会があれば様々な学習でご支援いただきたいと思います。

②高校生との合唱練習（音楽）

文化祭での合唱コンクールが近づく中、宇部高等学校で音楽の授業を選択履修されている生徒の皆さんが、3年生の各クラスの音楽の授業に参加してくださいました。高校生の皆さんは本校の合唱コンクールで3年生が練習している曲について事前に確認されており、パートごとに声の出し方や表現方法などについての的確なアドバイスをいただきました。同じ上宇部地域で学ぶ先輩との有意義な交流でした。

《人権に関する学習》

10月17日は人権に関する授業参観と講演会を実施しました。1年生は「言葉の大切さ」、2年生は「自分の気持ちを言語化しよう」、3年生は「ちがいのちがい」をテーマに、他者との関わりにおいて必要な正しい判断・行動について個人やグループで考えました。その後の講演会では、講師に塚田拓司先生をお迎えし、「あなたも大切、私も大切～『人』を笑顔にするコミュニケーション～」という演題で2つの落語を披露していただいた後、ご講話いただきました。各個人の人権を尊重し、自他を大切にしながら生活することの大切さを改めて学ぶ貴重な時間となりました。

《国際交流》

10月6日、7日、10日の3日間、オーストラリアのニューカッスル市から交換留学生のケイラ・マックスウェルさんが本校での学校生活を体験しました。3日間とも1年生のクラスで、授業や給食、掃除などの日本の中学生の1日を過ごしました。ケイラさんはニューカッスルで日本語を学んでいて、本校生徒と一部ですが日本語でコミュニケーションをとることができました。本校の生徒も英語を使って声をかけるなど交流することができ、普段の授業ではできない貴重な学習機会となりました。

《P-ポストの設置》

今年度も「ふるさと愛し隊」などの活動で、本校生徒は地域の皆様と様々な場面で交流させていただき、ご支援やご指導を受けています。このような中、生徒の地域での活動を価値づけ、地域の一員としての自覚を高める手立てになればと考え、校区内のふれあいセンターに「P-ポスト」を設置しました。裏面に説明いたしますので、本校生徒の活動を今後も温かく見守っていただきますようお願いいたします。